

第26回企画展

国指定重要文化財

東川院蔵 とうせんいん

# 木造観立菩薩坐像と

# その周辺

令和元年  
7.20<sup>土</sup>  
-9.23<sup>月祝</sup>

7月20日(土)は無料でご覧いただけます。

#### 【講演会】

- ①日時/7月21日(日) 13:30～15:00  
演題/東川院木造観立菩薩坐像とその周辺  
講師/井上 大樹 氏(文化庁文化財調査官)
- ②日時/8月31日(土) 13:30～15:00  
演題/旧東磐井郡域とその周辺にみられる  
十二世紀代の仏像の多様性について  
講師/政次 浩 氏(東北歴史博物館上席主任研究員)
- ③日時/9月15日(日) 13:30～15:00  
演題/東川院木造観立菩薩坐像と大東の中世  
講師/当館学芸員  
いずれも、定員100名、申し込み必要、参加無料。

#### 【展示解説会】

- ①7月21日(日) 15:10～16:00
- ②8月31日(土) 15:10～16:00
- ③9月1日(日) 10:30～11:15、13:30～14:15  
いずれも、申し込み不要、参加無料、ただし入館料が必要。

#### 【史跡めぐり-東磐井と気仙のお仏様を訪ねる-】

日時/9月6日(金) 9:00～16:30  
詳しくは市広報I-style 又は博物館ホームページをご覧ください。

一関市博物館



- 1 木造観音菩薩坐像（国指定重要文化財／東川院蔵）
- 2 木造来迎阿弥陀及菩薩像の内、跪坐像  
（岩手県指定有形文化財／松川二十五菩薩像保存会蔵）
- 3 鋳鉄製十一面観音立像（一関市指定有形文化財／東川院蔵）
- 4 木造不動明王立像（東川院蔵）
- 5 奥州三十三所観音巡礼再興納札  
（一関市指定有形文化財／東川院蔵）
- 6 観音堂（東川院境内）

当市大東町渋民の東川院が所蔵する木造観音菩薩坐像は、平成 30 年 10 月 31 日付けで国の重要文化財に指定されました。木造観音菩薩坐像は 12 世紀、奥州藤原氏三代による寺院造営に携わった仏師によって制作されたものと推定され、平泉周辺に遺る大作として評価されています。

現在の金谷稲荷山東川院は、明治 30 年に栗原郡宮沢村（現宮城県大崎市）の稲荷山東川院、大東町渋民の金谷山長寿寺、弥陀有頂山観音寺の三つの寺院が統合されたものです。

木造観音菩薩坐像が伝来した観音寺は、平安時代末に藤原秀衡による建立と伝えられ、江戸時代には奥州三十三観音の巡礼所として栄えましたが、後年の再編成では巡礼所から外れ、寺勢衰退の一途を辿った後に、三ヶ寺の統合を迎えます。

本展覧会では、国の重要文化財指定を記念して「木造観音菩薩坐像とその周辺」と題し、木造観音菩薩坐像を中心に、東川院の来歴と什宝、それから観音菩薩坐像と同時期の市内の優れた仏像を紹介いたします。

最後になりますが、本展を開催するにあたり、ご協力頂きました関係各位に厚く御礼を申し上げます。

## 一関市博物館

### 開館時間

9：00 から 17：00 まで（入館は 16：30 まで）

### 入館料

一般 300 円（240 円）、高校生・大学生 200 円（160 円）

※（ ）内は 20 名以上の団体料金

※次の方は入館無料。

中学生以下の方、65 歳以上の一関市民の方（証明書等提示）  
障がい者及び介護者の方（障がい者手帳等提示）

### 交通案内

自動車→一関 IC より西へ約 7 分（5 km）

一ノ関駅より西へ約 17 分（9 km）

路線バス→一ノ関駅前 9 番乗り場巖美溪方面行約 20 分  
巖美溪バス停下車徒歩 7 分



# 一関市博物館

〒021-0101 一関市巖美町字沖野々 215-1  
電話 0191-29-3180 / Fax 0191-33-4006

一関市博物館

検索

